

# RACDA (NPO法人 公共の交通ラクダ)

Rail & road transportation system

Amenity & Community Design Association

自動車も含めた都市交通、まち遊び、コミュニティーの再生  
岡山の街づくり団体・財界とのネットワーク

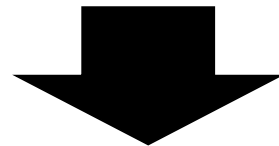


全国の約100団体とネットワークを形成

LRT = 路面電車 + 都市近郊鉄道 + 交通計画

LRTは民主主義の学校(今尾恵介)

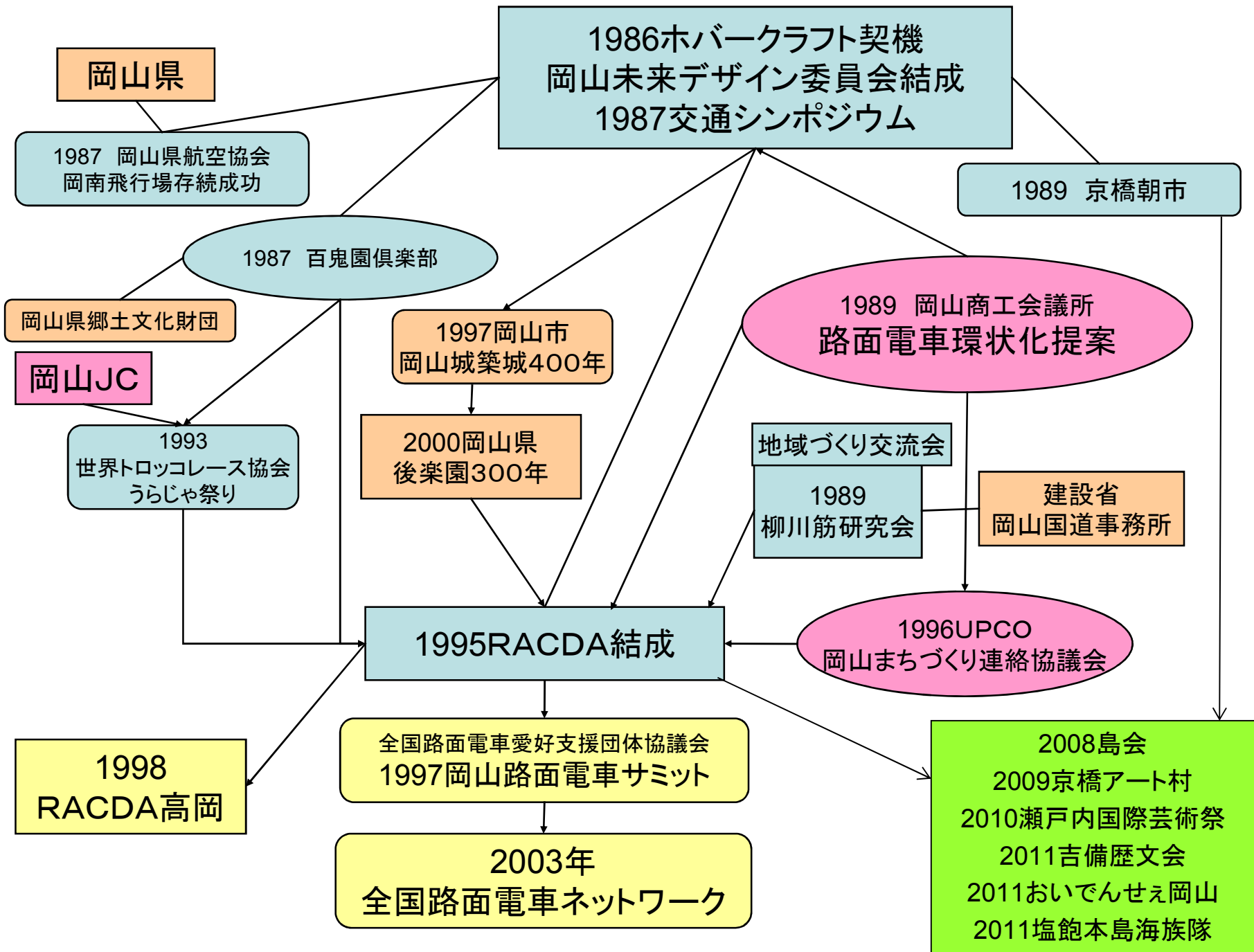
RACDAは政治団体でもある

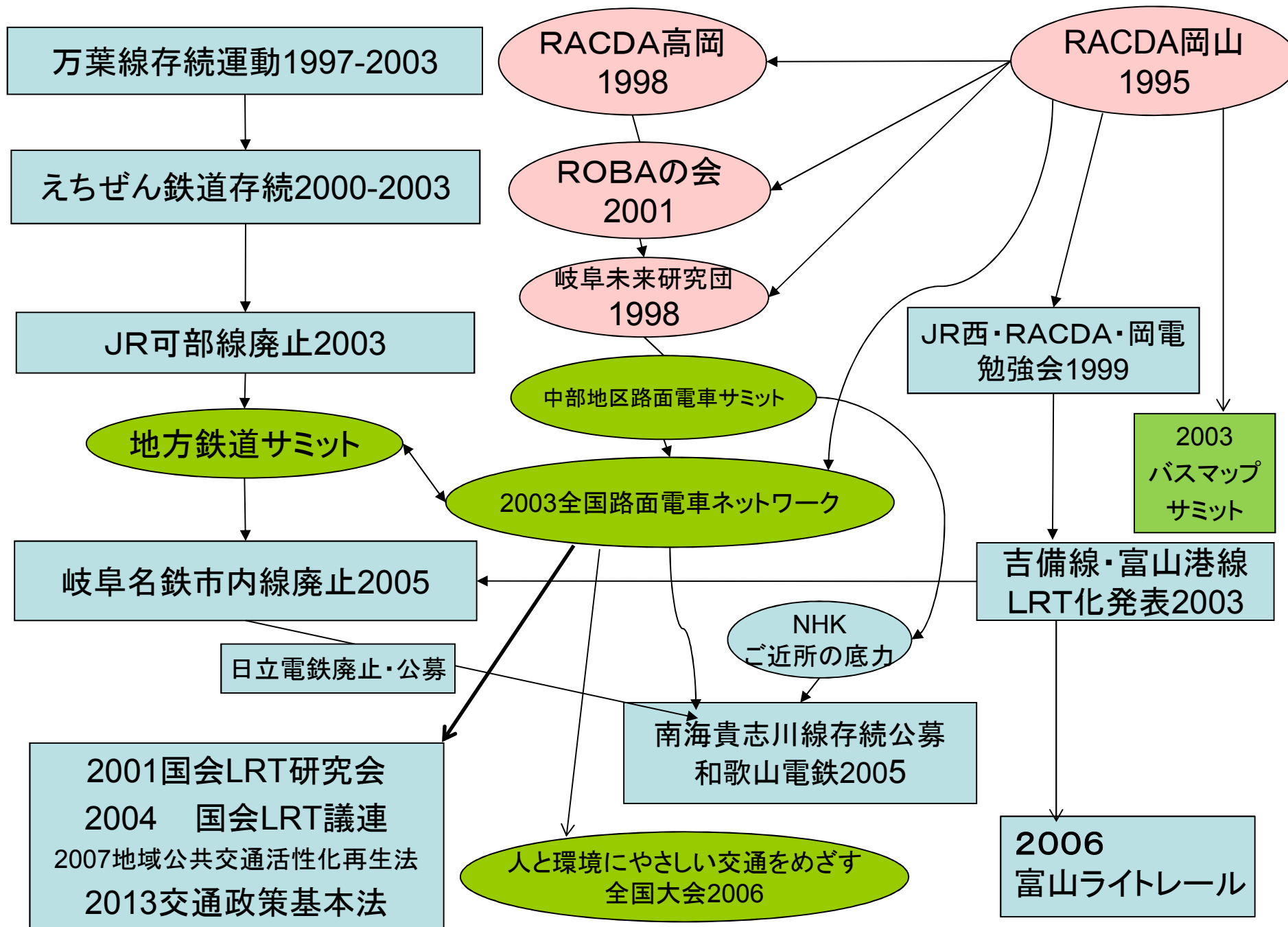


ロビー活動・超党派新交通システム推進議員連盟

# RACDAの20年の歴史

- 1995年 路面電車環状化を目的に  
市民グループと会議所で結成
- 1997年 路面電車サミット  
ロビー活動開始、LRTビデオ・出版
- 1999年 バスマップ製作、バスマップサミット  
吉備線LRT化スタート⇒富山LRT
- 2002年 MOMO導入、ワイン電車  
和歌山電鉄、全国100団体、議連
- 2006年 吉備線LRT化推進署名運動
- 2013年 交通政策基本法制定
- ★市民・利用者の立場、まちづくりの一環
- ★路面電車祭、瓦版朝市配布、クリーンモバイル冊子







**MOMO**  
**世界一の内装**  
**導入募金**  
**ワイン電車**  
**導入補助**  
**道路構造令**





10年以内に実現したいな!

RACDA 勝手にACTION

5

最寄りの停留所まで300m、歩いて5分以内で行け、  
岡山市内のどこからどこへでも1時間以内で移動でき、  
ピーク時以外は、すべての利用客がちゃんと座れ、  
どの便も早朝から深夜まで、最低でも30分間隔で運行し、  
岡山市内のどこからどこへでも500円以内で移動できるようにしたい……。

後からつづく人たちのために  
人と環境にやさしい  
トランジットモデル都市をめざして  
岡山から未来を、岡山から世界へ

私たちRACDAでは、これからの活動指針として、あくまでも市民やの利用者立場から誰にも分かりやすく使いやすい公共交通（路面電車やバス、鉄道など）の整備と情報サービスの提供をめざして、1980年代半ばに作成されたチューリッヒ（スイス）の交通計画にならって、岡山市を中心とする広域都市圏のめざすべき交通基本サービスのあるべき姿（目標）を上のような5つの行動計画に勝手にまとめてみました。  
チューリッヒでは、この目標をほぼ10年で達成したと言います。また、私たちRACDAの目標とするアメリカ西海岸のトランジットモデル都市ポートランドでは、さらに進んで街づくりと一体となった公共交通ネットワークの整備を1970年代半ばから進めています。その結果、深刻な交通渋滞や大気汚染、空洞化によって衰退の著しかった中心市街地は見事に再生され、いまでは全米の人が憧れる美しく活気に富んだ街づくりを実現しています。  
さいわい私たちの岡山には、ポートランドやチューリッヒにも負けない鉄道網が既に整備されています。この鉄道網を中心に、たとえば吉備線や津山線へのLRTの導入やバスや電車等の他の交通機関との接続性を高め、世界でもっともすばらしい公共交通ネットワークを築くことは、決して夢物語ではありません。  
利用者や公共交通事業者、関係機関の皆さんと一緒に、この目標を達成したいと願っています。そして歩行の見直しと路面電車やバスなどの公共交通を元気にする「人と環境にやさしいトランジットモデル都市づくり」をすすめることによって、日本の街づくりの流れを変えていきたいと思っています。



1003 6,8

## RACDAのアクション5 利用者の立場 交通「楽多」運動

1. 最寄の駅バス停まで300m、5分
2. 岡山市内を1時間で移動できる
3. ピーク以外は座れる
4. 一日中30分に一本は走っている
5. 岡山市内を500円で移動できる

# 人生35年／85年は電車バスが必要

We use public transportation 35years/85years

20歳車購入

70歳免許返上



車購入までは、公共交通が必要

成人も飲酒時や障害を持てば公共交通が必要

70歳以上は免許返上すれば、公共交通必要

福祉として公共交通の整備

# 地域で支える バス停アダプト運動

全国のバス停に、  
屋根とベンチとトイレを!!!  
民間敷地利用のバス停  
南方交番前(トマト銀行本店前)



南方交番前(ベネッセ前)





## 画期的交通実験としてのイオン渋滞対策

- 年間2000万人集客の巨大施設が駅前進出
- 都心回遊性向上策で空洞化対策のチャンス
- 自動車中心から公共交通中心のまちづくり
  - 1.岡山県警が適切な渋滞予測と情報開示
  - 2.青江・JR駅でのパーク&ライドの成功
  - 3.イオン駐車場の適正有料化と店舗内誘導
  - 4.岡山駅の交通結節点能力証明
  - 5.岡山市の公共交通誘導政策への転換
  - 6.県庁通り交通実験中止のアナウンス効果
  - 7.情報をもとに市民が賢く、交通行動を変えた

岡山のように公共交通インフラが十分にあれば、自動車社会であっても、市民は情報に基づき賢く行動する

# 仮想社会実験 市役所→駅→城下

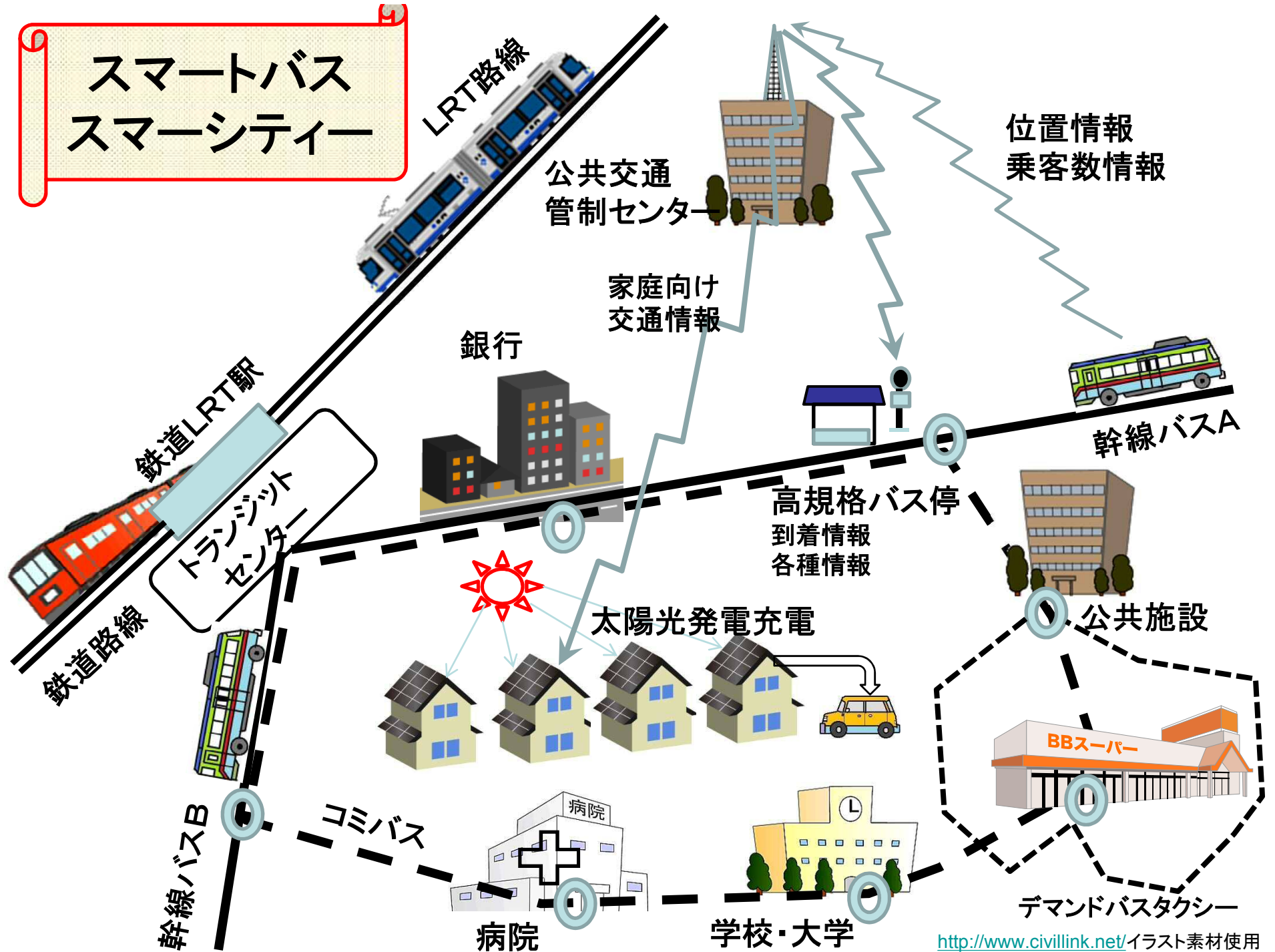


東京大学  
吉村研究室  
+RACDA

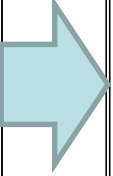
市役所筋路面電車  
延伸による車線減少  
の交通渋滞予測プロ  
グラムの開発。実際  
の交通実験と同様  
の結果が得られた。

このプログラム開  
発に協力した岡山東  
警は、イオン渋滞予  
測を依頼。都心3K  
m四方渋滞と予測。

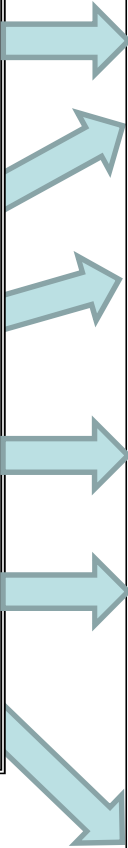
# スマートバス スマーシティー



現在のバス  
時間にこない  
のろい  
座れない不快  
カッコ悪い  
高い  
わからない



スマートバス  
時間に来る  
早い  
座れる快適  
カッコいい  
安い  
わかりやすい



スマートバス  
アクションプラン

到着予測システム  
バス専用レーン・優先信号  
臨時増発バス  
公共交通管制センター  
-----  
低床バス  
全バス停にベンチ屋根・トイレ  
バス停アダプト運動  
-----  
デザイン重視車両開発  
-----  
乗継割引・ICカード  
環境定期券  
地域交通連合  
-----  
バスマップ全戸配布  
高度情報化バス停  
機能別バスルート再編  
サイン計画見直し

# 交通政策基本法・交通財源・地方分権

2013年11月成立

## 地域交通計画の策定

都市計画との連動

市町村主導・税金投入

## 地域交通連合の結成

乗継100円割引等

共通ICカード利用

# TMA(公共交通調整機構)

RACDAのめざす市民参加

# 吉備線LRT化は道路事業の延長

- グローバリズムとJR完全民営化

赤字ローカル線の維持の限界

- 道路建設15兆円の半減

都市計画道路の選別とLRTの連動

- 道路・鉄道の既存インフラの徹底的活用



- 高架化・バイパス620億円見直し⇒言えない
- 素案では初期投資160億円＋関連投資
- 便数倍増、低床車両導入、スピードアップ
- P&R、巡回バス、同ホーム乗換

# 吉備邪馬台国東遷説

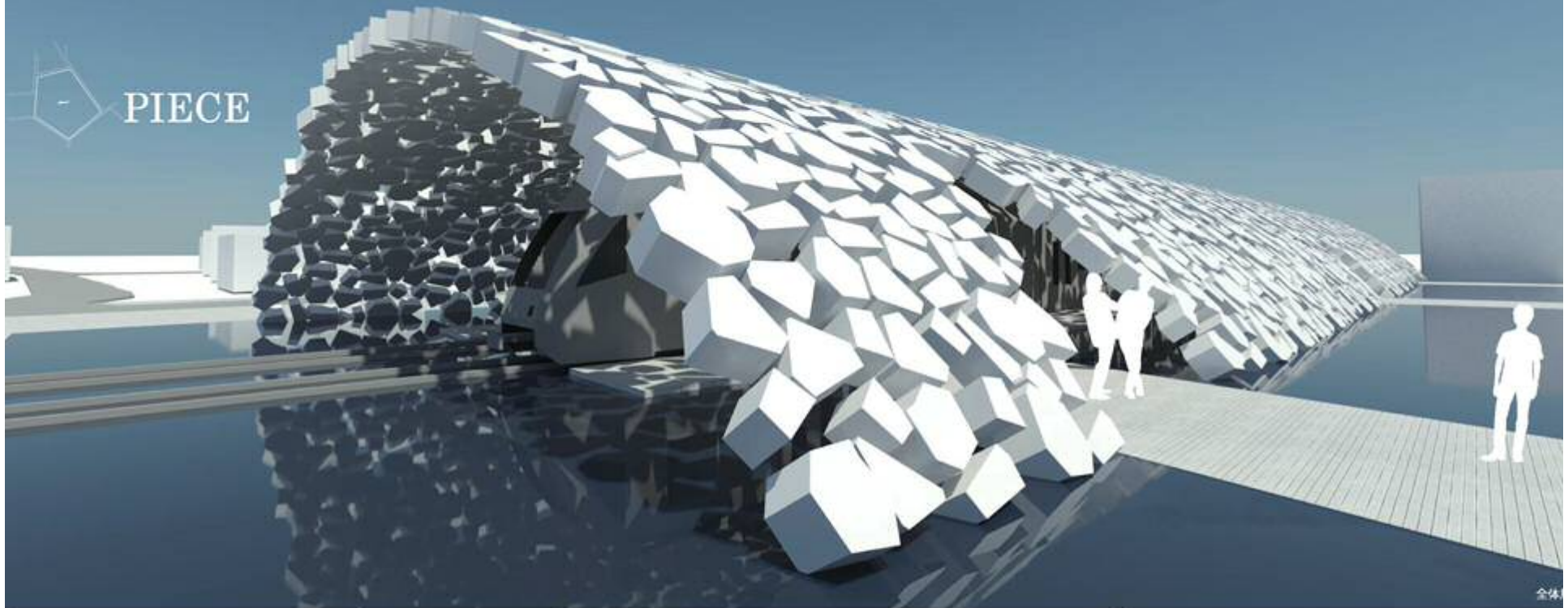






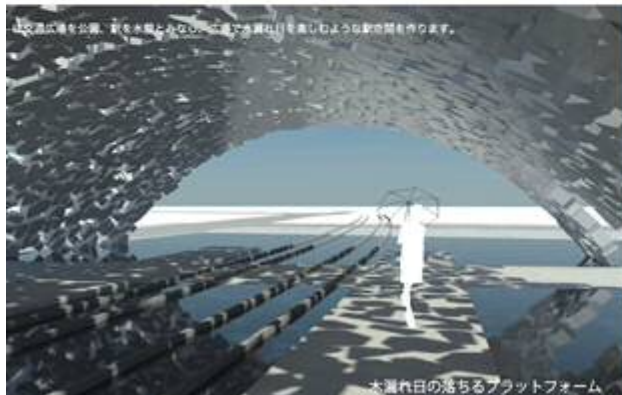


# 東総社駅デザインコンペ入選・安井謙介



## 1 新しい「通り/広場」としての駅

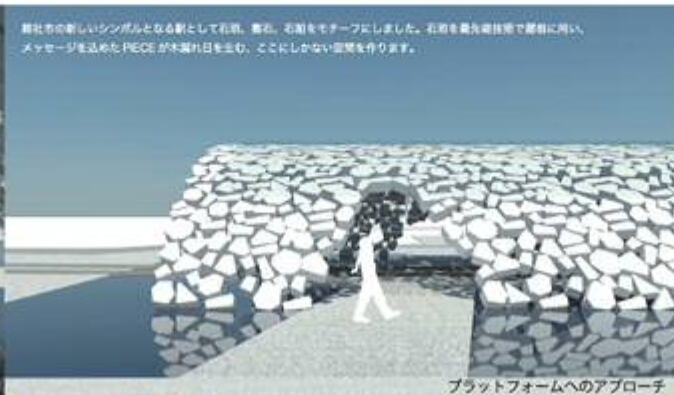
心地よい広場には木漏れ日を生む木々と魅力的な水盤がありませんか？



木漏れ日の落ちるプラットフォーム

## 2 街の「シンボル」としての駅

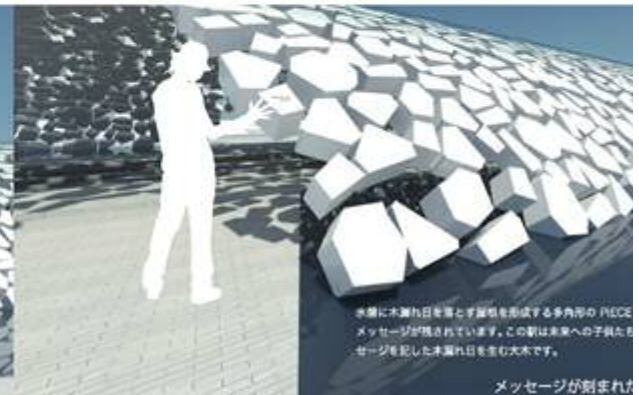
吉備路の魅力は古代へのロマン、ミステリーだと思いませんか？



プラットフォームへのアプローチ

## 3 「夢」の持てる駅

子供達へのメッセージが記された木漏れ日を落とす屋根があったら素敵だと思いませんか？



メッセージが刻まれた

1 交通広場を公園、駅を水盤とみなし、公園と水盤を結び楽しむような駅の間を作ります。

2 街の新しいシンボルとなる駅として石造、書石、石造をモチーフにしました。石造を最先端技術で屋根に使い、メッセージを込めたPIECEが木漏れ日を生む、ここにしかない空間を作ります。

水盤に木漏れ日を落とす屋根を形成する多角形のPIECEメッセージが施されています。この駅は未来への子供達へのメッセージを記した木漏れ日を生む大木です。

全体